

③その他紙(厚紙・紙袋など)の資源物収集を始めました

包装紙などリサイクル

八戸市、2地区で収集試行

八戸市は本年度、商店の包装紙や紙袋、菓子の空き箱などについて、市内2地区で分別収集のモデル事業を進めている。再資源化の推進とごみの減量化に向けた取り組みの一環。排出量や課題を調査・検討している。二〇〇七年度からの本格実施を目指している。(近藤弘樹)



モデル事業で収集した紙箱や包装紙など

07年度本格実施へ

市環境政策課によると、モデル事業で収集しているのは、容器包装リサイクル法の対象品目となっている「その他紙製容器包装」のうち、ティッシュや食品などの箱、包装紙、カレンター、紙袋、封筒など。七月から小中野地区と八戸ニュータウン地区で月二回収集し、排出量や異物の混入具合などを調べている。七月の収集状況を見ると、一回目は排出量が五百八十キ、異物の混入率は1・9%。二回目は六百四十キ、4・2%だった。異物の混入は、ティッシュの箱からビニ

ル部分を取り除かれていなかったり、カレンターに金具が付いたままのものなどが目立った。同課は「その他紙製容器はこれまで焼却してきたが、分別を徹底すれば紙資源に生まれ変わる。モデル事業で課題を整理し、全市での実施につなげたい」と話している。同市は一九九七年度か

ら缶類や瓶類、段ボール製容器包装のほか、新聞、古布などの分別収集を始め、二〇〇〇年度からはペットボトルも分別品目に追加している。

東奥日報
2007.8.18